

社会福祉法人 日本点字図書館

# 感謝録

平成25年6月



数多くのご支援に感謝いたします。

# 感謝のことば

社会福祉法人 日本点字図書館  
理事長 田中 徹二



平成 24 年度の実績をまとめました感謝録をお届けいたします。皆様のあたたかなご支援のおかげで、昨年度も無事に事業を進めることができました。心から深く感謝申し上げます。

昨年の今頃は、決算理事会で約 3,000 万円の赤字を出してしまい、暗い気持ちで過ごしておりました。東日本大震災の影響もあって、企業や団体からの助成金、一般寄付等が減ったためです。そのような状況が果たして改善するのかどうか、疑心暗鬼でした。

職員には、一層の節約と増収につながる方策を考えて実施するように促しました。小さなことでもいいので、身の回りで思いついた提案を実施してもらいました。消灯や冷暖房をこまめに操作することはもちろん、仕事の効率化にも取り組んでももらいました。そうした効果に加えて、助成金やご寄付にも復活があり、24 年度の決算はかなり改善されました。

しかし、油断は決してできません。時代の流れや利用者の拡大に応じて新しい事業も手がけていかなければならず、皆様のご支援を切にお願い申し上げます。

今年度は、マルチメディアデイジー図書の製作を本格化させます。視覚障害者に加え、学習障害者など発達障害者の方にとっても便利で読みやすい図書ですが、著作権法が改正され、文字を読むのが困難な方にも点字図書館のサービスとして、こうした図書を提供できるようになりました。

もちろん視覚障害者への情報提供も、これまでに増して強化していかねばならず、ボランティアの皆様にも大きな負担をかけております。

こうした事情をご推察の上、ぜひご支援をお続けくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 平成 24 年度 事業のあらまし

皆様のご支援をいただき取り組みました 24 年度事業についてご報告いたします。

はじめに、当館が国からの委託を受け、管理している視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」システムは、昨年 11,000 人の方々にご利用いただくまでのサービスに成長し、視覚障害者の読書ツールとして無くてはならないものになりました。このような利用の拡大や災害時の安定稼働にも対応できるよう、サーバ機器の一部リニューアルと専門業者へサーバの管理委託を行いシステムの強化を図りました。自宅に居ながら、点字図書・録音図書を 24 時間いつでも利用できる画期的なサービスであることから、今後も益々利用者の増加が進むものと思います。

次に、学習障害を持つ中・高生徒のために「マルチメディアデージー教科書」を製作し、提供いたしました。教科書以外の文学や娯楽、実用書も試行的に数タイトル製作し、評価・検証をいたしました。この取り組みは、著作権法の改正と教科書バリアフリー法という二つの法律によって、点字図書館のサービスの対象が広がったことによるものです。視覚障害者に加え「そのほか視覚による表現の認識に障害がある者」と規定されていますが、一般にはロービジョンや学習障害者と言われる方々です。今後は、こうした障害を持つ児童・生徒の教科書や学習教材の充実はもとより、豊かな人生の糧となる図書の製作とサービスの拡大に努めてまいります。

他にも、パソコンの利用が不得手な方々に対して始めた「デージー図書ダウンロードサービス」が好評なことから、昨年は新たに点字図書データのダウンロードサービスも始めました。

点字図書の製作では、原本からテキストデータを生成し、そのデータからパソコンを使って点訳を行う製作方法や、校正作業にピンディスプレイを導入するなど、作業のスピード化と効率化を図りました。

最後に、国際協力事業については、篤志家池田輝子氏によって創設された「ICT 奨学金事業」を、昨年はフィリピンのペナン島「セントニコラスホーム」を会場に実施いたしました。アジア太平洋地域の青年視覚障害者 16 名を招き、パソコンのプログラミングなど PC 上級技術の研修を行いました。

また、1993 年の「アジア太平洋障害者の十年」を機に始めた「コンピュータ点字製作技術指導講習会」は、フィジーにある盲学校を会場にして、アジア周辺諸国の視覚障害関係施設職員を対象に実施いたしました。

以上が 24 年度に実施することができた事業の主だったものですが、次ページに各事業部からの報告をいたします。

# 平成 24 年度 事業の実績

## 図書情報サービス

---

利用登録者数：13,511 人

新規収蔵図書数：

- ・点字図書 751 タイトル
- ・録音図書 996 タイトル

蔵書総数：

- ・点字図書 21,170 タイトル (78,129 冊)
- ・録音図書 13,971 タイトル (39,395 巻)

貸出数：

- ・点字図書 9,403 タイトル (37,288 冊)
- ・録音図書 138,199 タイトル



点字新刊図書案内「にってんブレイル」(年 6 回) 発行数 2,214 部

録音新刊図書案内「にってんボイス」(年 6 回) 発行数 44,422 部

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 491 人、976 時間

中途視覚障害者対象の点字教室開催実績：延べ 1,222 人、272 回

地域ボランティア活動講習会開催実績：11 名、15 回

視覚障害者対象のパソコン教室(初心者クラス及び体験クラス)

開催実績：延べ 82 人、322 回

レファレンス：視覚障害者図書情報提供 100,654 件

視覚障害関係墨字資料(奥村文庫)：新規収蔵 1,789 点、利用 945 件

## 点字図書の製作

---

新規受け入れ図書数：173 タイトル、929 冊(点訳ボランティア 109 人)

完成発表図書数：191 タイトル、1,058 冊(サピエにも登録)

点字出版図書頒布数：968 タイトル、2,717 冊

点字図書給付事業(価格差補償制度)利用数：360 件、848 冊

委託点字出版：(公財)日本テレビ小鳩文化事業団点字カレンダー 36,986 部など

## 録音図書の製作

---

新規製作図書数：213 タイトル、1,818 時間(朗読ボランティア 64 人)

図書編集実績：1,489 時間(編集ボランティア 36 人)

びぶりお工房（インターネットを活用した図書製作）

新規製作数：242 タイトル、2,010 時間（朗読・編集ボランティア 73 人）

月刊 CD 雑誌「にってんデイジーマガジン」を 80,725 枚配布

「ブックウェブ」（財）鉄道弘済会助成、「ホームライフ」「医学研究」

（公財）JKA 助成、「文藝春秋」（株）文藝春秋助成、「おしゃれなひととき」

（株）資生堂助成（年 4 回）など 7 雑誌収録

委託製作：（公財）早川清文学振興財団「ハヤカワライブラリー」10 タイトルなど

## 視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：1,090 種、127,029 点

新規取扱商品：マイケーン、視覚障害者用防災グッズ

基本セット、視覚障害者用メッシュベスト、

テレビが聞けるラジオ、透明凸点シール（薄

型）など 78 種

うち小型拡大読書器は 3 機種を追加しました。



海外輸出件数：6 件（韓国、台湾ほか）

展示会出展数：13 カ所

各種機器体験会開催実績：43 回

## 厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：40 タイトル（6,652 冊）製作、延べ 613 タイトル（2,427 冊）貸出

声の図書：デージー図書を 20 タイトル製作、延べ 1,701 タイトル、1,706 枚 貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 17 種、27,784 点

〔サピエ図書館の運営（視覚障害者用図書情報ネットワーク運営事業）〕

会員数：個人会員 11,205 人、施設会員 261 施設

提供数：

- ・点字データ 145,765 タイトル
- ・音声デージーデータ 42,795 タイトル
- ・テキストデージーデータ 196 タイトル
- ・マルチメディアデージーデータ 22 タイトル
- ・目録 631,130 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ741,827 タイトル
- ・音声デিজリーデータ 延べ1,490,929 タイトル
- ・テキストデিজリーデータ 延べ5,154 タイトル
- ・マルチメディアデিজリーデータ 延べ946 タイトル
- ・目録検索 2,165,591 件
- ・オンラインリクエスト 342,225 件

その他、全国の点字・公共図書館等に100,654件の情報を提供しました。

## 東京都委託事業

---

〔点字図書の製作・貸出〕

- ・点字プリンタ図書：27 タイトル（302 冊）製作 延べ212 タイトル（1,135 冊）  
貸出

〔声の図書の製作・貸出〕

- ・声の図書72 タイトル（360 枚）製作 延べ4,203 タイトル（4,228 枚）貸出

〔視覚障害者用図書レファレンスサービス〕

- ・都内の視覚障害者、施設・団体に対し40,263 件の情報提供

〔希望図書の製作〕

- ・個人の希望する点字図書：67 人・118 件
- ・個人の希望する声の図書：158 人・203 件

## 海外支援事業

---

■池田輝子基金によりマレーシアにおいて第9回池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。16 名（中級8 名、上級8 名）

■霞会館の助成によりフィジー盲人連合の協力でフィジーにおいて第19 回コンピュータ点字製作技術指導講習会を実施しました。

## チャリティ公演・イベント

---

〔チャリティコンサート〕

第10 回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート  
「高橋悠治＋古澤巖」11 月25 日（日）東京文化会館小ホール  
500 名近いお客様をお迎えして、盛況な演奏会になりました

〔チャリティ映画会〕

- ・秋の映画会：『はやぶさ 遙かなる帰還』9 月26 日（水）なかのZERO 大ホール
- ・春の映画会：『最強のふたり』3 月14 日（木）なかのZERO 大ホール

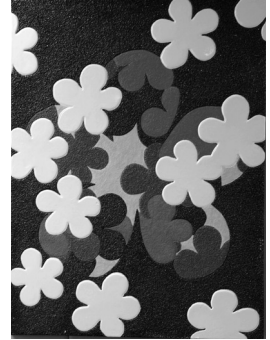
[各種イベント]

● 「かわいい折り紙教室 作品展」 4月28日(土)

当館カルチャー講座「かわいい折り紙教室」で2年間に製作された生徒さんたちの作品を展示しました。体験コーナーでは、初めての方8名の体験参加がありました。当日設置した、募金箱には7,470円のご寄付をいただきました。

● 「触れる美術展」 6月5日(火)～9日(土)

当館3階ロビーを会場にカメオなどを展示する触れる美術展を開催しました。カメオとは、メノウ、大理石、貝殻などに浮き彫りを施した装飾品の総称で、宝石彫刻とも言われています。ドイツのストーンカメオ作家 Aray Dommer (アレイ・ドーマー) 氏、石の粒・セメント・顔料を混ぜ合わせたもので絵を書く「石創画」の江田拳寛氏、大きさの異なる砂粒に付けた色と香りと触覚によるバリアフリー絵画「SUNAE (スナエ)」作家の高橋りく氏、触って楽しむことが出来る独特なモニュメントやレリーフを製作する彫刻作家の柳澤飛鳥氏らの、触って見る事が出来る作品を製作している作家のそれぞれの作品を展示し、大変盛況なイベントとなりました。



「SUNAE」

● 「加納洋ニューヨークの風 2」 6月16日(土)

ニューヨークで演奏活動をする全盲のジャズピアニスト加納洋さんの歌と演奏、楽しいトークをお楽しみいただきました。

● 資生堂「魅力アップビューティーセミナー」 10月12日(金)

「おしゃれなひととき」100号を記念したイベントを実施しました。当日は、視覚障害の男性16名、女性24名の参加者に美容スキルを体験いただきました。

● 「にってんクリスマスコンサート」 12月22日(土)

八重洲室内アンサンブル有志によるコンサートを開催しました。当日は、60名近くの来場者があり、参加された方から29,133円のご寄付をいただきました。

● 「朗読と講談のつどい」 2月16日(土)

朗読「時計のキズ」 清水奈美江

講談「日本語点字の父、石川倉次伝」 宝井駿之介

講談師 宝井駿之介様の全面的なご協力を得て、日本語点字を確立した石川倉次の人となりをお楽しみいただきました。朗読は、放送劇、CMなどにも出演され、現在は図書館や公民館で朗読をしてお活躍中の清水様にお願ひしました。

## 視覚障害者の災害対策のために

東日本大震災以降、災害対策への意識が高まり「視覚障害者は災害に対して、どのような準備をしたら良いか」という声が多く寄せられています。用具事業課では、そのようなニーズに応えるため、視覚障害者向けの防災グッズを開発するとともに、防災イベントを開催しました。

防災グッズは「視覚障害者が発災後の3日間をしのぐと共に、しばらく混乱している避難所におけるストレスを減らすこと」をコンセプトとしたオリジナル商品です。実際に現地に支援に向かった方々からアドバイスをいただき、商品を選びました。視覚障害者であることを周囲に伝えるためのベスト、常備薬や連絡先、家族の写真等を入れておく首かけポーチ、避難所での着替えに便利な体を覆うビニール製ポンチョなど25種29点が入っています。

また、本年3月1日には防災イベントを開催しました。東日本大震災での視覚障害者の被災状況についての報告、防災グッズの中身とその使い方の説明を行うと共に各種体験会を開催。携帯電話を使用した災害伝言ダイヤルの操作体験、避難所を想定した防災グッズ体験、津波を避けられない地域向けに開発された「津波シェルター」の体験をしていただきました。

視覚障害者は健常者以上に、共助・公助のサポートを受けることが必要です。このようなイベントを通じて災害への備えを始めるきっかけとさせていただきたいと考えています。

なお、このイベントは朝日新聞・読売新聞・点字毎日に取り上げていただきました。



## ● 利用者からの声

### 日点と私 増田千鶴子様（栃木県）

私が日点のテープと出会ってやがて40年が経とうとしております。オープンテープ、カセット、デージーと時代の流れと共に進化していきました。

日点と出会う以前の私は長編小説を読むのが非常に困難でしたので、その喜びは例えようも有りませんでした。それからは時間を見つけて、また色々な待ち時間を利用して普通では退屈な時間が一気に楽しみの時間となるのです。小説だけではなく昭和55年頃から布袋で送られてくる月刊テープも数多く聞かせて頂いておりました。現在ではデージーマガジンから膨大な量の情報を頂いています。

例えば、私が目が普通に見えたとしても本を買う家計的な負担、また、置き場所の問題などなど、これらのことを考え合わせるとなんとという幸せかと思うのです。だから、この気持ちを寄付という形で自分の出来る範囲で表していきたいと思うのです。一方的に愛を受けるだけで、そんな形でしかお返しすることができません。

これからもよろしく願いいたします。本間一夫先生と皆様に感謝をこめて。



## ご寄付への御礼とご報告

平成 24 年度は、皆様から以下のようなご厚志を賜りました。

総件数 10,076 件 (前年度 10,091 件)  
総額 120,927,625 円 (前年度 98,822,083 円)

その内訳をご報告いたします。

3,000 円未満	844 件	10 万円以上 50 万円未満	109 件
3,000 円以上 5,000 円未満	3,608 件	50 万円以上 100 万円未満	10 件
5,000 円以上 1 万円未満	2,636 件	100 万円以上	11 件
1 万円以上 10 万円未満	2,858 件	合 計	10,076 件

多くの方々から貴重なご寄付を賜りまして、誠にありがとうございます。心から深く感謝申し上げます。

チャリティイベントの収益からのご寄付や、当館のサービスを利用される方々から「毎月楽しみにしているデイジーマガジンのお礼に」との言葉を添えてのご寄付、また、長年続けられたボランティア活動引退記念や御家族の誕生日・命日を記念とすることなど、大切な思いを込められたご厚志を賜りました。ご厚志をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございます。

昨年度はご遺贈として3件、お香典返しにかえて1件のご寄付を頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

### 募金箱設置ご協力をお願い

「見える幸せ、読めるよるこび」のごく一部を視覚障害者のためにわけてください。自由に本を読むことのできる幸せの一部をお分けいただきたいのです。

お店や職場・会社・ご家庭に常時募金箱を置いてくださる方を募集しています。1円でも10円でも、ちょっとした小銭を本の製作に役立てたい。その温かなお心が集まると、大きな力になります。ぜひご支援をお寄せくださいますよう心よりお願い申し上げます。



## ❧ ご寄付いただいた主な企業・団体のお名前 ❧

\*紙面の都合上、全てのお名前を掲載できませんでしたことをお詫び申し上げます。  
(五十音順)

朝日信用金庫	電気事業連合会
味の素労働組合	東京Iゾーンクラブ
イオンクレジットサービス株式会社	東京第一友の会
有限会社 生生メディカル	東京灯芸家協会
医療法人社団三敬会 忍足眼科医院	東京八王子ロータリークラブ
株式会社 偕成社	有限会社 トレジャークエスト
かじもと眼科	永田眼科
日本キリスト教会 柏木教会	新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 図書館
医療法人 春日上原眼科医院	ニシフミート株式会社
日本基督教団 鎌倉雪ノ下教会	株式会社 日本財託
河和田屋印刷株式会社	ネットオフ株式会社
医療法人湘山会 眼科三宅病院	ハイアットリージェンシー東京
観音寺	林歯科
国稀酒造株式会社	PFU 労働組合
晃華学園麦の会	株式会社 日立ビルシステム
合同会社 大和印刷	有限会社 For You
ゴスペル東京チャリティコンサート実行委員会	普連土学園 宗教委員会
小橋国際特許事務所	財団法人 報国積善会
桜東京パイロットクラブ	ホテルオークラ東京
シオノギ製薬	ホテルサンルート高田馬場
一般社団法人 信託協会	聞明寺
真福寺	柳川特許事務所
一般社団法人 全国銀行協会	横浜友の会
一般社団法人 全国地方銀行協会	横浜ロイヤルパークホテル
全国友の会中央部	理数専門点訳会シグマ
浅草寺教化部	有限会社 菱和興産
宝印刷株式会社	ロイヤルパーク汐留タワー
社会福祉法人 中日新聞社会事業団東京支部	ロイヤルパークホテル

## チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前

当館が主催したチャリティ映画会・チャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。

(五十音順)

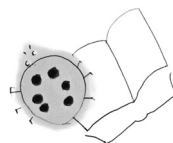
株式会社 アシスト	株式会社 辻封筒印刷所
株式会社 岩波書店	財団法人 鉄道弘済会
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団	株式会社 天賞堂
NTT 東京福祉文化事業団「ゆいの会」	天理教東京教区まこと会
有限会社 大橋洋紙店	東亜ディーケーケー株式会社
オタリテック株式会社	東京 I ゾンタクラブ
オリンピック眼科病院	社会福祉法人 東京光の家
株式会社 偕成社	東邦印刷株式会社
学書院	東洋はり医学会
ケージーエス株式会社	株式会社 日清製粉グループ本社
株式会社 サン・データセンター	日生総合サービス株式会社
公益財団法人 社会福祉振興・試験センター	株式会社 日本財託
株式会社 小学館	日本ジー・ビー・シー株式会社
株式会社 新上	公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団
株式会社 西武洋紙店	株式会社 ハーベスト
有限会社 瀬川商店	社会福祉法人 ぶどうの木ロゴス点字図書館
ゼネラルタック株式会社	法明寺
大同通商株式会社	公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団
株式会社 太平エンタープライズ	株式会社 ライズィング印刷
株式会社 タカラトミー	リコージャパン株式会社 首都圏営業本部
株式会社 タニタ	株式会社 LIHIT LAB.

## 愛のポストカード・愛の CD 運動へのご支援

書き損じはがき、出し忘れはがき、未使用のはがきをご寄贈いただき、切手に換えて日常業務に不可欠な通信費の一部に充当しています。また、ご不要となった音楽 CD や DVD をご寄贈いただき、中古店に買い取っていただいて運営資金に繰入れています。

平成 24 年度は、はがきの引き換え金額として 144,593 円、CD の買取り金額として 211,630 円のご支援をいただきました。

この二つの運動は今後も継続してまいりますので、皆様のご協力をよろしく申し上げます。



## ❧ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ❧

多くの企業・団体と個人の皆さまからワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・CD図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書にはご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やキャッチコピーなどを図書に表示して、利用する読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

(敬称略)

点 字 図 書		C D 図 書		
お 名 前	口数	お 名 前	口数	
イオンクレジットサービス株式会社	31	イオンクレジットサービス株式会社	31	
リサイクルブックストア協議会	12	スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社	16	
特定非営利活動法人エキスパートチャリティ アソシエーション	10	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5	
はんだこどもクリニック	3	ハウス食品労働組合	5	
株式会社 東横イン	2	リコー社会貢献クラブ・FreeWill	3	
共同印刷株式会社	1	花王株式会社	2	
株式会社 日立ビルシステム	1	花王ハートポケット倶楽部	2	
匿名	1	下野恵子	2	
		匿名	2	
			アサヒ ワンビールクラブ	1
			アートサービス企画	1
			岩瀬愛子	1
			菅原朋大	1
			株式会社 ニデック有志	1
			林田綾子	1
			株式会社 日立ビルシステム	1
			ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	1
			匿名	1
			匿名	1
	点字図書 合計	8 件	CD 図書 合計	19 件
	61 口		78 口	
点字図書・CD 図書 総計 139 口				

## ❧ 企業や団体からのご助成 ❧

企業・団体名	金額(円)	内 容
公益財団法人 石橋財団	6,120,000	合成音声を用いた DAISY 版理数教科書・教材製作システムを開発しました
株式会社 岩波書店	720,000	岩波新書等の録音版を製作し、貸出しました
一般財団法人 NHK サービスセンター	2,000,000	点字版「NHK ウィークリーガイド」を製作し、頒布しました
大阪府民共済生活協同組合	5,500,000	点字図書と録音図書を製作し、貸出しました
一般社団法人 霞会館	1,000,000	フィジーにおいて第 19 回アジア盲人図書館協力事業を実施しました
株式会社 川上キカイ 関東支店	50,000	業務用シュレッダーを導入しました
公益信託 久保記念点字図書援助基金	400,000	録音図書再生機貸出事業に係る機器を導入しました
公益財団法人 JKA	2,584,383	障害を持つ人が幸せに暮らせる社会を作る活動として、月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」を製作し、貸出と配布を行ないました
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書のデイジー編集作業を行ない、インターネットでの配信と CD の貸出を行ないました
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書を製作し、貸出しました
財団法人 鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェーブ」を製作し、貸出しました
東京都共同募金会	940,000	高速両面単票点字プリンターを導入しました
株式会社 トーハン	499,877	点字図書と録音図書を製作するための原本及び資料の提供を受けました
財団法人 日本児童教育振興財団	1,200,000	マルチメディアデイジー教科書製作ソフトウェアの操作講習会を実施し、中学・高校数学教科書を製作しました
財団法人 日本宝くじ協会	2,000,000	点字図書と録音図書を製作し、貸出しました
一般財団法人 日本メイスン財団	3,300,000	点字図書と録音図書を製作し、貸出しました DVD 映画対応音声解説 CD を製作し、貸出しました
公益財団法人 原田積善会	300,000	録音雑誌用 CD コピー機及び電子書籍検証用端末を導入しました
公益財団法人 一ツ橋総合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」を製作し、貸出しました 録音図書のデジタル化を行ないました
株式会社 文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」を製作し、貸出しました
前田建設工業株式会社	1,000,000	点字図書を製作し、貸出並びに配布しました
三菱電機株式会社	226,000	音声操作読み上げ対応テレビを導入しました
公益財団法人 森村豊明会	450,000	電子数学教科書の評価・検証用再生機を導入しました
社会福祉法人 読売光と愛の事業団	800,000	専門対面リーディングサービス事業を実施しました ロービジョン機器等相談事業を実施しました

# 平成 24 年度 決算のあらまし

単位 (円)

<b>経常活動による収支(収入)</b>	
事業収入	622,697,169
委託等事業収入	107,613,383
経常経費補助金収入	125,393,200
寄付金収入(寄付・助成金等)	165,055,709
雑収入	4,011,182
受取利息配当金収入	4,583,452
会計単位間繰入金収入	24,176,646
経理区分間繰入金収入	111,805,497
①経常収入計	1,165,336,238
<b>経常活動による収支(支出)</b>	
本部・点字図書館人件費支出(法人負担分)	342,131,615
委託・助成事業人件費支出	117,256,145
事務費支出	96,572,428
事業費支出	423,400,317
借入金利息支出	417,935
会計単位間繰入金支出	24,176,646
経理区分間繰入金支出	111,805,497
②経常支出計	1,115,760,583
③経常活動資金収支差額(①-②)	49,575,655
<b>施設整備等による収支(収入)</b>	
施設整備等補助金・寄附金収入	940,000
④施設整備等収入計	940,000
<b>施設整備等による収支(支出)</b>	
固定資産取得支出	15,030,458
⑤施設整備等支出計	15,030,458
⑥施設整備等資金収支差額(④-⑤)	△ 14,090,458
<b>財務活動による収支(収入)</b>	
投資有価証券売却収入	5,143,123
積立預金取崩収入	117,081,013
⑦財務収入計	122,224,136
<b>財務活動による収支(支出)</b>	
借入金元金償還金支出	7,200,000
積立預金積立支出	127,323,517
流動資産評価減等による資金減少額等	11,070
⑧財務支出計	134,534,587
⑨財務活動資金収支差額(⑦-⑧)	△ 12,310,451
⑩当期資金収支差額合計(③+⑥+⑨)	23,174,746
<b>⑪前期末支払資金残高</b>	
前期末支払資金残高	57,515,106
当期末支払資金残高(⑩+⑪)	80,689,852

# 日本点字図書館のあゆみ

1940 (昭和 15) 年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館 (現在の社会福祉法人日本点字図書館) を創立 蔵書 700 冊
1945 (昭和 20) 年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948 (昭和 23) 年	焼け跡に仮建築で再出発 蔵書 3,000 冊 日本点字図書館に改称
1952 (昭和 27) 年	社会福祉法人となる
1953 (昭和 28) 年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954 (昭和 29) 年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958 (昭和 33) 年	声のライブラリー発足 テープ 50 巻、レコーダ 1 台
1960 (昭和 35) 年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966 (昭和 41) 年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976 (昭和 51) 年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989 (平成 元) 年	厚生大臣特別表彰 (身体障害者福祉功労団体) を受賞
1991 (平成 3) 年	パソコン点訳者養成事業開始
1994 (平成 6) 年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996 (平成 8) 年	専門対面リーディングサービス開始
1998 (平成 10) 年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999 (平成 11) 年	デジタル録音図書 (CD 図書) の製作・貸出開始
2003 (平成 15) 年	本間一夫と日本点字図書館が、第 10 回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界 (享年 87 歳)
2004 (平成 16) 年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005 (平成 17) 年	ユニバーサルデザイン推進室 (UD ラボ) 設置
2007 (平成 19) 年	アジア太平洋障害者の 10 年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008 (平成 20) 年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009 (平成 21) 年	CD 雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010 (平成 22) 年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011 (平成 23) 年	カセットテープによる録音図書サービスを終了 中国盲文図書館との間で友好姉妹館を締結

## 役 員

理事長	田中 徹二	
常務理事	天野 繁隆	館長
同	伊藤 宣真	本部長
理事	大塚 信一	前 (株)岩波書店代表取締役社長
同	岡村 喬生	声楽家・音楽監督
同	河 幹夫	神奈川県立保健福祉大学教授
同	花島 弘	(公財)共用品推進機構理事
同	日高 由央	元 武蔵野大学教授
同	福山 嘉照	(福)東京都福祉事業協会理事長
同	三田 誠広	作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監事	野田 聖子	弁護士
同	脇本 千治	(一社)日本義肢協会常務理事

## 評 議 員

青木 裕子	高橋 秀治	長岡 英司	星川 安之	山岡 三治
阿佐 博	竹村 実	長谷川貞夫	本間 一明	山崎 喜芳
加藤真由美	立花 明彦	花島 弘	三田 誠広	渡邊 岳
河野 康徳	富田 清邦	福島 智	森 美樹	和波 孝禧
樽松 武男				

後援会長 阿刀田 高 (作家・日本文藝家協会常務理事)



社会福祉法人 **日本点字図書館**

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209-0241 (代表) FAX (03) 3204-5641

ホームページ <http://www.nittento.or.jp/> Eメール [nitten@nittento.or.jp](mailto:nitten@nittento.or.jp)


ゆうちょ銀行振替口座 一般:00160-2-100288

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行	高田馬場支店	普通	2855735
三井住友銀行	高田馬場支店	普通	92380
三菱東京UFJ銀行	高田馬場支店	普通	167456

口座名: 社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ: フク) ニッポンテンジトショカン

インターネットからも募金いただけます

日点  で検索

(敬称は省略させていただきます)